

地域社会とのつながり —16号保土ヶ谷電線共同溝工事— (東京支店)

本工事は、国道16線の横浜市保土ヶ谷区管内の電線共同溝^{*1}工事です。

受注後間もなく、他企業との調整を行ったところ、支障移設に10ヶ月ほど時間を要し、すぐには着工できないことが判明しました。発注者との協議の結果、電線共同溝工事を縮小し、前工事にて共同溝工事が完了している箇所の舗装復旧工事を行うこととなりました。

共同溝工事においては、他企業埋設物が近接しているため、本社工事部より CIM^{*2}の作成支援を受けて、地中の埋設物を「視える化」し、作業開始前の危険予知ミーティング時に作業従事者間で情報を共有、安全管理に活用することにより、埋設損傷事故ゼロを達成することができました。

近隣の方々は、長年の工事の影響（仮復旧による段差等）で振動騒音に



悩まされており、当社の舗装復旧工事が完了するのを待ち望んでいたため、完成後は車道の振動が減少したことを大変喜ばれていました。



※1 電線共同溝とは—

電線共同溝は電線や電気、水道、ガスなどのライフラインをまとめて道路などの地下に埋設するための施設です。地中に埋設し、集約することで維持管理や街の美観の向上に役立つメリットがあります。国土交通省では防災や安全・円滑な交通確保、景観形成・観光振興、東京オリンピック・パラリンピックの開催に関連付けて都市内部や緊急輸送道路など必要性の高い区間を中心に2020年までに1,400[※]の無電柱化を進める計画です。

[工事の概要]

工事名／16号保土ヶ谷(3) 電線共同溝工事
発注者／横浜国道事務所
工期／平成28年7月21日～平成30年3月31日
共同溝工区＝130m 舗装工区＝654m

近隣住民の方とのコミュニケーション

日頃より、本工事にご協力いただいている近隣の方々と何か一緒にできないかと考え、近隣自治会にご協力いただき、クリスマス会を実施しました。

実施日：平成29年12月16日(土) 13:00～17:00

実施場所：上星川団地 集会室

実施内容：ペットボトルツリー作成・展示 ビンゴ大会

参加者：未就学児 3名 保護者 5名
小学生 12名 日本道路 4名



クリスマスツリーを2基作成するため、約500本のペットボトルに絵を描きます。人数が少なく、かなりの時間を要しました。



クリスマスツリー用の架台・他材料・当日の作成は、協力会社さんをお願いしました。



プレゼントにはかなり悩みましたが、みんな喜んでくれたと思います。



騒音がでないようソーラーパネルにより蓄電しライトアップしました。深夜の住宅への影響を考慮し、自動点滅装置を使用し日暮れから5時間の点灯としました。

